

## 1. 公開授業概要

日 時 平成12年12月1日（金）5・6 校時

授業者 東京都立府中東高等学校

教 諭 榎 茂喜

助言者 田能村教育問題研究所

黒瀬 忠生 先生

単元名 生物 I・A・ヒトの一生

クラス 3年選択（男子14名、女子18名）

参加者 本校教職員を含め12名

## 2. 指導内容

新学習指導要領により、新しく「総合的な学習の時間」が設けられることが決まった。この「総合的な学習の時間」は、いかに社会が変化しようとして、自分で課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断し、行動し、よりよい問題を解決する資質や能力などの生きる力を育むために創設されたものである。

また「性教育」は、自己の性を認識し、豊かな人間関係を築く中で直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てることを一つの目的としている。そのため、「総合的な学習の時間」は性に関する学習を深く、統合的に行うには適している。特に、性教育の重要課題である、自己の在り方・生き方についてを考察する学習活動に関しては、この「総合的な学習の時間」によって、横断的・総合的に扱われることが学習の成果をあげるためには必要である。

現行および新学習指導要領いずれにおいても『性教育』の記述はないが、総則・教科・特別活動等の記述には性教育に関連する事項がある。また教科においては特に、公民科・地歴科・理科・保健体育科・家庭科を中心として、性に関する学習が扱われ

ている。しかし、今までの性教育はどちらかといえば、内容を断片的に取り上げ、一方的に知識や授業内容を教えることが多くみられ、多くの学校では画一的な知識偏重の授業が行われてきていた。自分の興味・関心から自ら学習することはあまりなかった。

WHOでは、ライフスキルを「日々の生活における要求や対応において効果的に対処できるような、適切で積極的な行動をするための能力」と定義している。これは、「総合的な学習の時間」が目指す、生きる力とも共通する考え方である。つまり、ライフスキルトレーニングを行うことは、生きる力や豊かな人格形成にとって重要であると考える。ライフスキルトレーニングを教育として扱う場合には、主としてグループワークによる集団指導が中心となるが、ロールプレイ・ケーススタディ・ディスカッション・ディベートなど様々な方法を行うには、総合的な学習の時間を有効に活用することが必要となってくる。

そこで、以下の様な観点において授業を展開することを考えた。

- ① 総合的に性に関する学習を行うことによって、生徒自身の性に対する意識を高め、また、性に対する考え方や意思決定について学ばせる。
- ② 人間の性について調べることにより、人間だけが持つ性に関する問題点を考えさせ、また人と人との関わりについて考えさせる。
- ③ 社会の一員としてのライフスキルを身に付けるためのトレーニングを行う。
- ④ 心身ともに健康であることについて考え、実践する態度を育む。
- ⑤ 探究を中心とした学習では、個人やグ

グループにおいて、討論や活動や活動が円滑に行えるよう、助言及び指導を行う。

### 3. 学習の流れ

今回の公開授業では、コンドームの使用交渉を通して、コミュニケーションや意志決定の能力育成を主題において授業を計画した。

性交は動物にとって種の保存として重要なものであるが、人間にとっては生殖のためだけではなく、快楽や愛情の表現としても大切な意味を持っている。しかし、生殖つまり妊娠出産を期待しない性交を行う場合においても、避妊についてあまり考えない傾向が近年強くなってきている。また、高校生の性交経験も増加傾向にある。そこで、高校生でもできる避妊方法であるコンドームを使うことについてのロールプレイを通して、意志決定や問題解決の能力の育成を重点においた学習を設定した。また、具体的目標な学習目標として、以下の点を重点におき、学習を行った。

- ① グループ討論を通して、性に関する事項について、自分自身で考ええる能力を育成する。
- ② コンドームを使用することの交渉から、自ら判断し、行動できるような人格の形成をめざす。
- ④ 学習の過程を通じて、ライフスキルの育成を行う。  
生物IAは、3年生の選択科目として開設している、週1回、5・6時間の2時間続きの講座である。2枚の学習プリントと1枚の資料プリントを用いて、グループ別作業と発表を主に学習を進めた。以下にその主な学習の流れを示す。
  - ① いややな相手からの誘いを断る方法を各自考え、それを作業プリントに書き出し、その後発表させる。
  - ② 学習開始時の避妊に対する生徒（自分

達)の意見を読んでそれに対する考えをグループごとにとまとめる。

- ③ コンドームの特徴をまとめる。
- ④ 交渉を行うために、あらかじめグループ内で想定問答例を考える。
- ⑤ 性交時においてコンドームを使うことについての交渉をグループの代表が演じる。
- ⑥ ロールプレイを見たり演じたりした感想を出し合い問題点を考える。
- ⑦ 自己評価と授業の感想を各自書く。

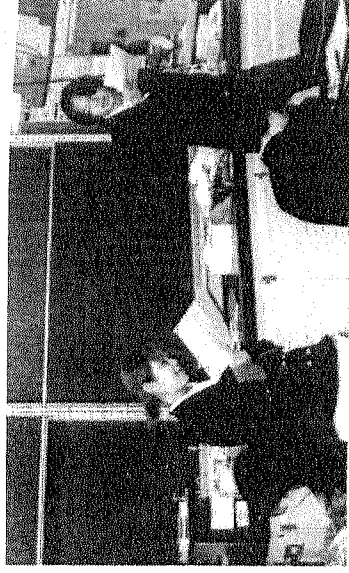
### 4. 授業のまとめと考察

今回の、一連の性に関する学習に先立って性に関するアンケートを行った。その結果、『「性」という言葉を聞いて、あなたにはどのようなイメージがわきますか』との質問に対しては、「男と女（もしくは男および女単独）」という回答が17名と圧倒的に多く、「妊娠」が4名と次に多かった。

次に、『性教育で知りたいことや疑問に思っていることはなんですか』という質問に対しては、「性病（エイズを含む）」という回答が11名で最も多かった。また、『「性交（セックス）」という言葉から連想される言葉を5つあげて下さい』という質問に対しては、「妊娠」という回答が最も多く（20名・複数回答）、続いて、避妊（15名）、性病（15名）、エイズ（10名）、愛（10名）の順であった。生徒は今まで「性」についてしっかり考えたことがあまりないようであった。関心も、心の問題よりも、避妊や妊娠、性感染症など、体に関する問題のほうが高い。また、性教育というと、避妊やエイズや性周期などの知識を得る学習であると考えている生徒が多い。そこで、今回は、心の問題、特に人と人との関わりを重点において授業の展開を試みた。生徒は真剣に考え、

心に作業を行っていた。また、グループ討議では活発に意見を出し合って、教師の指導や助言をあまり必要としないほど自分たちで学習を進めていた。ロールプレイについても楽しそうに集中して学習を行っていた。この授業終了後の生徒の感想から代表的なものを紹介する。

- ・ コンドームの大切さを知った。他の避妊方法に比べたら、手軽だし、値段もそんなに高くないし、自分のことや、相手の事を大事に思うなら、コンドームをつける方が良いと思う。
- ・ 相手のことも自分のことも大切にするために、自分の意志はしっかり持っていないといけないと思った。
- ・ 避妊は、自分を守るためにも、相手も考えばこそするものだと思う。
- ・ 他の人の意見や考えが聞けてよかった。やっぱり避妊はしなきゃいけないと思う。
- ・ 避妊は絶対しなきゃいけない。ゴムも大事な存在だと思った。今日の授業も勉強になった。
- ・ 女側の意見と、男側の意見とでは、結構違いが大きかった。だから、話し合いをして、お互いの考えをもっと理解するコトが必要だと思った。
- ・ つけること＝2人の将来を考える、だと思っから、愛し合っているなら、2人でよく話し合っって、ちゃんとつけるべきだ。
- ・ こういう事はとっても大切な事だから、ひとりひとりやりがちゃんと考えなきゃいけない。避妊についてもっと重く受け止めなければいけない。
- ・ 自分で交渉することとか体験できて、交渉のむずかしさを知ることができました。
- ・ 妊娠や避妊について色々考えることが出来た。色々なトラブルをさけるために避妊はした方がいいと思った。



最近の生徒の傾向として、「自分自身で考えることをしない」「他の人の意見を聞くことができない」「他の人と上手くコミュニケーションをとることができない」などの問題点がみうけられることが多いなってきた。これらの問題点を解決するためには、教科・科目の授業と異なり、自由に学習内容を構成できる『総合的な学習の時間』が有効であると考える。そのなかでこれらの「生きる力」の育成に結びつくようなライフスキルトレーニングを行うことは大切であると思われる。

性教育に関しては、生徒の興味・関心は高く、学習意欲も普段の理科の学習内容と比較して高い。また、生徒にとってグループにより話し合いや発表が中心の授業は、あまり経験したことがなく、特にロールプレイは授業形式としてはなじみがないものである。しかし、感想にもあるように、生徒自身も考えることや、他の人と話し合うことの楽しさを理解している様子がうかがえる。自己評価では、「自分の考えをもつことができたか」では100%、「自分の意見をきちんと発表することができたか」では89%、「他の人の意見に対してきちんと自分の意見をだせたか」では、93%と、高い数値が得られた。今回のような学習を繰り返すことにより、生徒にとって、性教育の内容の理解だけでなく、ライフスキルの育成に十分な効果を及ぼすと考えられる。そして、それは豊かな人間性を育むことに直接的に結びつくと考ええる。

## 「総合的な学習の時間」 学習指導案

日 時 平成12年12月1日(金) 5・6校時  
指導学級 東京都立府中東高等学校 第3学年  
選択科目生物I-A 男子14名 女子18名  
授業者 東京都立府中東高等学校教諭 榎 茂喜

### 1. 領域名「性教育」

#### 2. 領域設定の位置づけ

##### (1) 総合的な学習における領域の位置づけ

新学習指導要領により、新しく「総合的な学習の時間」が設けられ、現在移行期間である。この「総合的な学習の時間」は、いかに社会が変化しようとして、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力などの生きた力を育むために創設されたものである。また、「性教育」は、自己の性を認識し、豊かな人間関係を築く中で直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てることを一つの目的としていることもあり、「総合的な学習の時間」は性に関する学習を深く、統合的に行うには適している。特に、性教育の重要課題である、自己の在り方・生き方についてを考察する学習活動に関しては、この「総合的な学習の時間」によって、横断的・総合的に扱われることが学習の成果をあげるためには必要である。

##### (2) 教材観

- ① 現行および新学習指導要領いずれにおいても、「性教育」の記述はないが、総則・教科・特別活動等の記述には性教育に関連する事項がある。教科においては特に、公民科・地歴科・理科・保健体育科・家庭科を中心として、性に関する学習が扱われている。しかし、今までの性教育はどちらからかといえ、内容を断片的に取り上げ、一方的に知識や授業内容を教えることが多くみられた。特に高等学校では、大学進学を控えていることもあり、多くの学校では画一的な知識偏重の授業が行われてきた。自分の興味・関心から自ら学習することはなかなか難しいものがあつた。
- ② 理科における性教育では、人体の構造や生殖・発生のしくみ、ホルモンと性周期などについて、科学的な側面からの基礎的な知識の習得を目的とした講義形式の授業形態が中心となっている。また、ヒトを一つの生物例として扱うために、ヒトだけが持つ特異性についてはあまり扱わない。そのため、生徒自身が性に関する問題意識をあまり持つことがないという傾向にある。
- ③ 中学校では、「理科」において、細胞の構造、体細胞分裂、有性生殖・無性生殖を学習している。特に生殖ではカエルについての卵と精子の形成・構造・受精と発生を学習している。また、「保健」においては、二次性徴や身体や精神の発達、心身の調和について学習している。さらに、健康と環境や生活と疾病についても学習している。また、「技術・家庭」では、幼児の心身の発達について学習している。

##### (3) ライフスキルの育成と学習活動

WHOでは、ライフスキルを「日々の生活における要求や対応において効果的に対処できるような、適切で積極的な行動をするための能力」と定義している。これは、「総合的な学習の時間」が目指す、生きる力とも共通する考え方である。つまり、ライフスキルトレーニングを行うことは、生きる力や豊かな人格形成にとっても重要であると考えられる。ライフスキルトレーニングを教育として扱う場合には、主としてグループワークによる集団指導が中心となるが、ロールプレイ、ケーススタディ、ディスカッション、ディベートなど様々な方法を行うには、総合的な学習の時間を有効に活用することが必要とわってくる。

#### (4) 指導観

- ① 総合的に性に関する学習を行うことにより、生徒自身の性に対する意識を高め、考え方や意思決定について学ばせる。
- ② 人間の性について調べることにより、人間だけが持つ性に関する問題点を考えさせ、また人と人との関わりについて考える。
- ③ 社会の一員としてのライフスキルを身に付けるためのトレーニングを行う。
- ④ 心身ともに健康であることについて考え、実践する態度を育む。
- ⑤ ビデオ教材や資料を活用することにより、情報収集や処理などの情報活用能力を養う。
- ⑥ 探究を中心とした学習では、個人やグループにおいて、討論や活動が円滑におこなえるよう、助言及び指導を行う。

### 3. 領域の目標

#### (1) 総括目標

- ① 男または女としての自己認識を確かにさせるとともに、異性に対する認識を深めさせる。
- ② 人間尊重の精神に基づいて男女の人間関係を築くことができるようにする。
- ③ 家庭や社会の一員として生きていくうえで必要な人間の性に関する基礎的・基本的な事項を習得させ、現在及び将来の生活において、性にかかわる諸問題に対して、適切な意思決定ができるようになる。

#### (2) 具体的目標

- ① 自然現象への関心・意欲・態度
  - ア. 動物や人間の生殖・発生・遺伝について意欲的に調べようとする。
  - イ. 性に関する学習において、自分自身の意見をもつようにする。
- ② 自然現象についての知識・理解
  - ア. 動物の生殖や発生についてのしくみがわかる。
  - イ. 人間の生殖や発生では人間特有な現象がみられることがわかる。
  - ウ. 人間のライフサイクルにおける変化のしくみがわかる。
  - エ. 人間の体、特に男女の違いについてのしくみや役割がわかる。
- ③ 科学的思考
  - ア. 生命現象についての一様性と特異性を理解する。
  - イ. 今までの学習をもとにして、人間の持つ特徴を考える。
  - ウ. 体のなかには一生をおくるためのさまざまなしくみがあることに気づく。
- ④ 探究活動の技能・表現
  - ア. 資料としての教材からの、情報収集および処理のしかたを習得する。
  - イ. グループでの討論のしかたを習得する。
  - ウ. 調査・研究の結果をまとめたり、発表するしかたを習得する。
- ⑤ 性に関する知識・理解
  - ア. 人間の生殖についての基礎的な知識を理解する。
  - イ. 人間の生殖、特に性交行動についての特異性を理解する。
  - ウ. 人間の性交行動における特徴や問題点を考える。
- ⑥ 社会的な側面
  - ア. 家庭や社会の中における人と人との関わりについて考える。
  - イ. 男女の性役割や関わりについて学習する。
  - ウ. 効果的なコミュニケーションを行えるような訓練を行う。

#### 4. 指導計画

##### (1) 領域全体の指導計画（平成12年度・全18時間）

9/8	オリエンテーション	（2時間）	アンケート・資料の利用
9/22	意思決定をしよう 性行動における選択	（1時間）☆ （1時間）☆	個別学習・集団討議 ケーススタディ
9/29	自分が考える男性像・女性像 男女の関わりを考えよう	（1時間）☆ （1時間）☆	絵画表現・集団討議 グループ学習
10/6	家族ってなんだろう	（2時間）☆	シナリオ作成・ロールプレイ
10/20	男の体・女の体 脳と神経	（1時間）	資料の利用・一斉学習
	性衝動と反応	（½時間）	一斉学習・資料の利用
	性に関する問題点	（¼時間）	一斉学習・資料の利用
	性に関する問題点	（¼時間）	個別学習・資料の利用
11/10	動物とヒトの生殖	（2時間）☆	ビデオ教材・グループ学習
11/17	妊娠と発生 ホルモンと性の成熟	（1時間）	ビデオ教材・調査
	妊婦体験	（½時間）☆	資料の利用・一斉学習 体験実習
11/24	性感染症・エイズ 避妊と中絶	（1時間）	資料の利用・個別学習
		（1時間）☆	ビデオ教材・グループ学習
12/1	コンドームネゴシエイト	本時（2時間）☆	ロールプレイ

☆印はライフスキルトレーニングを主体とする学習活動

##### 5. 本時の指導計画

###### (1) 学習主題設定の理由

性交は動物にとっても種の保存として重要なものであるが、人間にとっては生殖のためだけではなく、快楽や愛情の表現としても大切な意味を持っている。しかし、生殖つまり妊娠出産を期待しない性交を行う場合においても、避妊についてあまり考えない傾向が近年強くなってきている。また、高校生の性交経験も増加傾向にある。そこで、高校生でもできる避妊方法であるコンドームを使うことについてのロールプレイを通して、意志決定や問題解決の能力の育成を重点においた学習を設定した。

###### (2) 具体的目標

- ① グループ討論を通して、性に関する事項について、自分自身で考える能力を育成する。
- ② コンドームを使用することの交渉から、自ら判断し、行動できるような、人格の形成をめざす。
- ③ 学習の過程を通じて、ライフスキルの育成を行う。

###### (3) 展開 主題 「コンドームネゴシエイト」

主な学習活動	生徒の活動	指導上の留意点
導入 （25分） グループ （一斉授業） アイスブレイキング ブレインストーミング	各自に数字を考え、声を出さずに握手だけで仲間をさがす  伝言ゲームをする  いやな相手からの誘いを断る方法をあげる	生徒の人数に応じて作るグループの数を調節する  新しいグループの中での緊張をほぐす 自由な発想を尊重し、どんどん記入させていき、その後発表させる

主な学習活動	生徒の活動	指導上の留意点
展開 (20分)	グループワーク 学習開始時の趣向に対する生徒の意見を讀んで、それに対する考えをグループごとにまとめる	資料の配付
展開 (30分)	レクチャー 本日の学習活動を理解する  休み時間 (10分) グループワーク コンドームの特徴をまとめる 交渉を行うために、あらかじめグループ内で想定問答例を考える 性交時においてコンドームを使うことについての交渉をグループの代表が演じる 何組かの例を生徒を変えて演じる 聞いている生徒は、その内容と意見や感想を書く 各自、気付いた点をプリントに入しする	パンフレット及びコンドームの配付  資料・作業プリントを配付する 机間指導により、討論が進むように助言をおこなう 論理的な反論ができるように助言をおこなう デロールは首にぶら下げたボードをとることににより確実に行う  友人と意見を交換しながら記入させる
まとめ (15分)	シェアリング 他の人の演技を見て、または自分で演じて見ての感想を出し合い、問題点等を引き出す  観点別に自己評価を行う 授業の感想をまとめる	分かち合うことにより、問題点を理解する  達成度に応じて4段階で評価させる

(4) 学習指導上の留意点

- ① グループワークにおいては、グループ内で出てきた意見や、収集した情報を処理する場合に、特定の人物の意見や固定観念に捕らわれずに、自由な発想が出てくるように心掛ける。
- ② ロールプレイにおいては、場面の設定や配役について適切な指導を行う必要がある。また、人権については特に配慮が必要である。

(5) 学習の評価と反省

- ① 自分の意見を持つことができたか。
- ② 自分の意見を発言・発表することができたか。
- ③ 他の人の意見に対して的確に自分の意見を出すことができたか。
- ④ 意見や必要な情報を処理してまとめることができたか。

報告用紙 No. 1

2. 他人の発表を聞いて、自分の書いたもの以外の返事があれば下に記入して  
いて下さい。

1. いやな相手から誘われた場合に、どのような返事(言い訳)を  
したら良いと思いますか。思いっつき書き出して下さい。

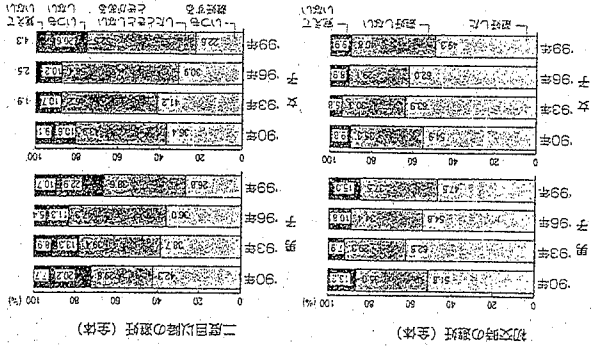
3. 配付された「選定の実行状況のグラフを見ての意見・感想」について、他人  
の意見などを読んで、グループごとに話し合い、意見をまとめてみましょう。

4. コンドームの特徴(購入・使用法・効果など)を利点・欠点含めて考えて、書  
き出してみましょう。





※資料 下のグラフで表されている、高校生の性に関する調査の結果を見て、自分の考えや感想を書いて下さい。



【男子】「避妊の実行状況」のグラフを見ての意見・感想

できるだけ、避妊をして、まだ経済力のない自分だから、にんしんをしないように注意して、相手のことも考えながら、行動するのがよいと思う。  
 避妊は、してはいけないとはいわれないけれど、してもよいとも言えません。自分達しかしたことから責任がとれないなら、最初からするなとはいいたい。

子供ができた時のことを考え、高校生では避妊はしたほうがいいと思う。  
 ちゃんとした。自分一人のめんどうもみれない高校生が、そんな大きな責任を持つてゐるわけがないから、責任能力がないうちは、しっかり避妊をするべきだと思う。  
 初めての時は避妊する傾向が見られる。その後は、あまり避妊しないようだが、その数はだんだんと減ってきている。いつも避妊しないという割合も、だんだん増えてきている。  
 問17、していないよ。問18、なんかめんどくさいのでやっぱりやらなかったりする。  
 今の自分たちの年れいでは、子供が出来たら、どうしようもできないので、必ず避妊をするべきだと思う。  
 避妊は持っていない時があるかもしれないので、状況によると思います。でも、なるべくは避妊したほうがいいです。  
 やっぱり避妊するべきだけど、つい思い忘れたりしちゃったり、ゴム付けるときって、けっこうさめるんだよね。だから、あまり深く考えたくないです。一度目のほうが避妊する人が多いと思うが、二度目以降がへっているのはよくないと思う。  
 避妊は絶対したほうがいいと思います。もしできちゃったら大変だと思いたす。

・ 避妊はするべきだと思う。

【女子】

・ ぶっくろはほとんどか避妊しなくちゃいけないのにグラフを見て、こういう結果でびっくりした。  
 ・ 一回目とか二回目とかそういう問題じゃなくってとりあえずひにんはぜったいひつようだと思っ。  
 ・ 避妊は絶対するべき。男の人は、避妊する責任があると思う。それができないのなら性交をしないほうがいいと思う。結局傷つくのは女の方が多いから。  
 ・ ひにんをする人がへってきているのかわかる。みんな平気なものだと考えているんだらうけど、にんしんしたらどうするんだらう。  
 ・ 「ひにん」はいつでもするべき。昔よりひにんする率が低下しているのは、びっくり。責任持てないなら「ひにん」はするべし！！  
 ・ 問17、避妊はしたほうがいい。  
 ・ 問18、避妊はしたほうがいい。

・ 私は避妊は、自分の将来のためにも相手の将来のためにも、子供がほしいと思っていないのであれば避妊したほうがいい絶対だと思います。  
 ・ みんな、妊娠について整く考えすぎているのではないかとと思う。私はまだ、そういう経験はないからよくわからないけど、でも、そういうのはきちんとして自分が自分のためにも相手のためにもいいんじゃないかと思っ。子供がでると困るのに、避妊しないというのはおかしいと思っ。  
 ・ 問17、避妊しなかった。相手か避妊するって言わなかったから、そのままって感じて…  
 ・ 問18、避妊した。ちゃんと相手か何も言わなくともつけてくれたから。問17、していない。理由はお互い準備していなかったから。

・ 避妊したか多かと思っただけど、半分くらいしかいないのに驚いた。右のグラフでいっもしないかあるのにもビックリ。妊娠と対してどうしてちょっと真剣になれないのか不思議に思っ。子供ができておろせば何とかなるとか、そういう問題じゃないしそういう考えは絶対にやめてほしいと思っ。  
 ・ 絶対にしなければいけないと思っ。雰囲気は流されちゃいけない。  
 ・ 初めての時はしたけど、二度目以降はほとんどしてない。でも結婚するまで避妊はするべきだと思う。  
 ・ 初めは避妊している人の方が多いけど、二度目以降はしていない人のほうが多くなってくる。年々避妊していない人がふえていっるのが気になる。